

藤枝市教育委員会

平成24年12月定例会会議録(抜粋)

- 開催日 平成24年12月19日
- 場所 藤枝市役所西館5階 第4委員会室
- 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 出席委員
委員長 深津寧子 委員長職務代理者 山根紗智子
委員 下田實男 委員 松浦正秋
教育長 山本満博
- 欠席委員
- 出席した事務局職員
教育部長 塚本定生 教育政策課長 戸塚準一郎
教育推進室長 詰坂一代 学校教育課長 櫻井昭裕
主席指導主事 栗山淳子 学校給食課長 山内政信
生涯学習課長 三好正彦
駅南図書館兼岡出山図書館長
成岡均 文化財課長 磯部武男
総務係長 森田耕造 書記・主任主査 坂部めぐみ

次 第

1. 開 会 午前9時00分

2. 日程第1

- ・第16号議案 藤枝市文化財保存費補助員交付要綱の廃止について
- ・第17号議案 藤枝市立図書館条例の一部改正について
- ・第18号議案 藤枝市立小・中学校通学区域の調査審議について

3. 日程第2 諸般の報告

1. 11月市議会定例会一般質問の要旨について
1. 通学路緊急合同点検結果要対策箇所について
1. (仮称)藤枝東公民館建設事業の早期実現に関する陳情について

4. 閉 会 午前 10時00分

教育委員会 平成24年12月定例会会議録

日程第1

事務局	<p>【 第16号議案 藤枝市文化財保存費補助金交付要綱の廃止について 】</p> <p>藤枝市文化財保存費補助金交付要綱について、藤枝市告示により新規制定したため、藤枝市教育委員会告示の本要綱は廃止する。</p>
委員	<p>内容は変わるのか。</p>
事務局	<p>①補助対象経費の総額の20パーセント以内の変更、これについては承認が不要だという内容を追加した。</p> <p>②それから実績報告をすみやかにあげるということだったが、その「すみやか」の内容を、事業完了後10日あるいは補助金の交付決定のあった日の属する年度の翌年度の4月10日のいずれか早い日までに、ということにより特定をした。それから別表をこれまでは内規で取り扱っていたが、それを明文化するということで、補助率1/2以内あるいは限度額ということを明文化した。</p> <p>審議の結果、本案は原案のとおり可決。</p>
事務局	<p>【 第17号議案 藤枝市立図書館条例の一部を改正する条例について 】</p> <p>藤枝市立岡出山図書館岡部分館の移転に伴い、名称及び位置の変更をするため、藤枝市立図書館条例の一部を改正したく申し出る。</p>
委員	<p>市の図書館で、リサイクル本を各学校関係、保育園幼稚園関係等わけているが、リサイクル本とする基準があるのか。</p>
事務局	<p>図書館の本は資料で、廃棄基準というものがあり、基本的には7年、それ以外も消耗して駄目なものについては廃棄またはリサイクル本としている。配布は大変喜んでいただいているのでこれからもやっていきたい。</p>
委員	<p>是非続けて欲しい。</p>
委員	<p>図書館の本については7年ということだが、各公民館図書館の本の廃棄とか入れ替えというのは、どのような形になっているか。</p>
事務局	<p>岡出山図書館のほうで各公民館については管理している。入れ替えについては、図書館の基準と同じである。</p> <p>審議の結果、本案は原案のとおり可決。</p>

事務局	<p>【第18号議案 藤枝市立小・中学校通学区域の調査審議について 説明】</p> <p>平成25年度の新たな特別支援学級開設に伴い、特別支援学級の通学区域の見直しが必要になったため、藤枝市立小・中学校通学区域審議会を教育委員会より諮問したく提案する。</p>
委員	<p>特別支援学級とか特別支援学校を新設しようという話が多く出ているようだが、そういった子どもが増えているということか。</p>
事務局	<p>平成16年と25年度の特別支援学級へ入る予定者数を比べると約3倍になっている。障害に対する保護者の考え方がはっきりしてきたというのと、障害として認定されるような状態の児童が多くなってきたことが理由と考えられる。</p> <p>今まで藤枝市は拠点校方式をとっていたが、児童生徒が増えてきたため、いくつか作り始めているところである。ただ、県のほうで、特別支援学級の担任につきましては、正規の職員でないといけないとかいくつかの細かな規定があるので、急激に増やしていくのはなかなか難しい。</p>
委員	<p>保健センター等で3歳児健診等行っているが、今は1/3位の子どもがそこで引っ掛かると聞いたことがある。各校の特別支援学級の人数が増えて、このままでは特別支援学校も作っていかなくてはいけないのではないかと思う。藤枝市としてはこれ以上どんどん増えてきた場合に、どこの学校へもこういったような学級を作る準備があるのか。</p>
事務局	<p>友達や同級生等、何人かとの関係の中で子どもたちが育つということが学校教育の本来の大きな目的であるので、複数子どもたちがいて、継続して学級が出来ていくような場合が、作っていく基準になるのではないかと考えている。</p> <p>3歳児健診での件は、早期に人間関係作り等への支援をすることによって、通常の学級でやっていける子どもも出ているような効果もある。</p> <p style="text-align: center;">審議の結果、本案は原案のとおり可決。</p>

日程第2 諸般の報告

事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 11月市議会定例会一般質問の要旨について <ul style="list-style-type: none"> ●4名の議員より一般質問があった 1. 通学路緊急合同点検結果要対策箇所について <ul style="list-style-type: none"> ●各学校から報告された危険箇所の中から特に危険と思われる小学校14校27箇所を対象に緊急合同点検を行った 1. (仮称) 藤枝東公民館建設事業の早期実現に関する陳情について <ul style="list-style-type: none"> ●10月18日に市長、教育長、議長に提出された。12月6日文教建設委員会で審議され採択された ●今後は庁内各担当課で推進協議を行っていく
-----	--

事務局

そのほかとして2件報告。

- ①12月5日に岡部中学校のプール周辺で落書きがあった。警察に通報して、指紋など採取した。落書きは既に消した。学校では学級毎にそれぞれ公共心とか愛校心を持つような指導をした。
- ②今月21日に県の市長会があるので、市長から小中学校における学習環境の改善に関する要望の申し入れをしてもらうよう進言をする。財政支援的なものが多いが、是非とも市に対してこうした支援をしていただきたいということを伝えてもらう。

委員

特別支援学級の児童が小学校から中学校にあがる時の引き継ぎというのはどのような形でなされているのか。

事務局

個々の子どもに支援計画と指導計画の2種類作っているが、保護者に了解を取れているところについては両方、取れていないところについては指導計画のほうを送る形を取っている。

委員

通学路緊急合同点検について、児童生徒を守る、登下校に児童生徒を守るということでは、やはり交通事故に遭わない、遭わせないことが一番大切なことではないかと思う。子どもを車から守るという点ではガードレールが有効であると思うので設置を出来るところでは是非設置してもらいたい。